

つながれ！ひろがれ！



和・輪・話



会津教育事務所社会教育だより



令和7年度No.3 令和8年1月30日発行

【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】

第3回の会津教育事務所社会教育だより「つながれ！ひろがれ！和・輪・話」では、会津域内で行われている読書活動推進の様子について紹介します。



福島県の重点事業 「ふくしまの未来をひらく読書の力プロジェクト」

学校や図書館等で活躍できる読書ボランティア等の人材育成や資質向上を図るとともに、学校・家庭・地域が連携して子どもの読書活動を推進し、子どもたちの豊かな心や生きる力の育成を図ることが目的です。また、乳幼児期から思春期に至る切れ目のない読書活動の推進により、生涯にわたる望ましい読書習慣の形成を目指しています。この実現のために、福島県教育委員会では3つの事業を行っています。

(1) 読書活動推進事業…「第五次福島県子ども読書活動推進計画」をご存じですか？



これまでの成果と課題を受けて、令和7年3月に策定。

第五次福島県子ども読書活動推進計画へのリンク

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/keikaku.html>



→「ふくしまのすべての子どもに読書の力を」をスローガンとした読書活動の指針。

(2) 読書活動支援者育成事業…読書活動支援者を対象とした県内7教育事務所での研修会の開催。 参加希望者は、どの地区の研修会にも申し込むことが可能。

(3) 情報発信プロジェクト…中学生・高校生によるビブリオバトルの開催。県内各地区予選会のチャンプ本に選ばれた中学生・高校生の2名が県大会に出場。

(1) 会津域内の読書活動推進事業

推進計画で示されているのは、学校・家庭・地域が連携した子どもの読書活動の推進です。会津域内の社会教育の場で行われている取組を紹介します。



【西会津中学校
町民図書館】



【会津若松市北公民館図書室
・会津坂下町中央公民館図書室】

西会津中学校の敷地内にあり、中学校図書館であるとともに町民が自由に利用できる公民館図書室として、憩いの場となっています。

各公民館図書室では、公民館利用団体の制作物を本棚に並べたり、新着図書の表示をしたりと配架を工夫し、利用促進を図っています。



楽しそうな「ぬいぐるみの図書室おこまい会」

11月22日㈯に開催した「ぬいぐるみの図書室おこまい会」に、17人の子どもたちが参加してくれました。今回子ども図書と中学生ボランティアが後援や利点な会のお手伝いをしました！ぬいぐるみと一緒におとなしく参加した後は、子ども達で遊んだり、借りた本を選んだり、楽しむ時間も過ごしていました。

そして、ぬいぐるみのお隣の時には、夜の図書室で読みぬいいるみたちの写真をフレントしました。また、ぬいぐるみが持ら主のために選んだ1冊も貸し出しました。子ども達は写真を見てとても喜んでいました。



【北塩原村の読書推進事業】

北塩原村では、毎月「公民館図書だより」を発行し、北塩原村公民館図書室を活用した事業やおすすめの図書を紹介しています。（北塩原村 HP 参照）



(2) 読書活動支援者育成事業「会津地区研修会」



ねらい 〈読書ボランティア等の人才培养と資質向上〉

会津地区では、南相馬市から2名の司書の方を講師として迎え、研修会を行いました。域内の図書館関係者や読み聞かせボランティア団体などからご参加いただき、参加者のスキルアップを図ることができました。

日 時 令和7年7月16日(水)13:20~16:20 / 会 場 北会津公民館 / 参加者 40名

講話「震災を経た南相馬市の魅力ある図書館づくり」 南相馬市立中央図書館 司書 菊地 伸江 氏

【参加者の感想】

本をどこに配架するのか、どうしてもNDC順にしてしまってましたが、ガイド本や本によって配架を変えても良いのだと気持ちが楽になりました。利用者の皆さんを第一に考えた姿に見習うべきことがたくさんありました。

講義・演習「絵本読み聞かせ実践講座」

南相馬市立中央図書館 司書 絵本専門士 JPIC 読書アドバイザー 佐藤 真紀 氏

【参加者の感想】

実際に絵本を読んでいただき、聞き取りやすい声と間の取り方など大変勉強になりました。また、絵の見せ方を工夫するというペアワークで様々な気付きがありました。



(3) 情報発信プロジェクト「第11回ビブリオバトル福島県大会 会津地区予選」

ねらい 〈中学生・高校生の自主的な読書活動推進や情報発信力の向上〉

日 時 令和7年8月 30 日(土)13:20~16:00

／会 場 会津若松市文化センター／観戦者 65名・ボランティア6名

予選会では、会津域内各校からの出場者(中学生6名・高校生5名)が、お気に入りの本を5分で紹介し、その後に質疑応答が2分行われ、計7分の持ち時間で競いました。アンケート感想からは、出場者・観戦者ともに読書への意欲を高める様子がうかがえ、会津の読書活動推進の一助となる大会となりました。



【出場者の感想】

たくさんの緊張感の中でよい経験をすることができました。本好きとして、一冊と向き合う時間はとても楽しかったです。

【観戦者の感想】

普段あまり本を読んでいないけれど、紹介されて読みたいと思う本がありました。この後本屋さんへ行きます。



その後、10月12日(日)に福島県立図書館で行われた福島県大会では、会津地区予選を勝ち上がった中学生・高校生の2名が紹介した本が見事チャンプ本に選ばれ、全国大会に進みました。会津域内では、ビブリオバトルが自治体・中学校・高等学校にも広がっており、レベルの高い戦いが繰り広げられていることが分かります。

左の写真は、会津若松市の會津稽古堂で11月2日(日)に開催された「第12回会津ビブリオバトル」の様子です。参加者が3チームに分かれて予戦を行い、予戦の勝者3名による決戦でチャンプ本が決まりました。本の魅力を語り合う姿が素敵ですね。

今回は、令和7年度に会津域内で行われた読書活動推進に関する取組を紹介しました。子ども達の読書活動推進には、学校・家庭・地域の連携が大切です。ほんの一部しか紹介できませんでしたが、取り上げた事例を参考に、それぞれの立場でできることを実践していただければと思います。研修会・ビブリオバトルは、来年度も実施しますので、ぜひご参加ください。

また、「読書推進のためにこんな取組をしています！」などの好事例がありましたら、会津教育事務所総務社会教育課までご連絡ください。会津教育事務所作成の広報物等で紹介したいと思います。今回取り上げた研修会やビブリオバトルについては、会津教育事務所のホームページに詳しく掲載しております。ぜひご覧ください。